

平成27年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

建設部

款	項	目	大	事業	ページ
6	1	9	10・11	国土調査事業費（補助分・単独分）	6 - 1
8	2	1	15	市道敷地等未登記対策費	6 - 2
8	2	1	17	（新規）道路情報管理システム整備事業費	6 - 3
8	2	2	10・11・13	道路維持管理費（単独分・債務負担行為分・社会資本整備総合交付金事業分）	6 - 4
8	2	2	12	除雪対策費	6 - 5
8	2	2	14	除雪機械購入費	6 - 6
8	2	4	32・40	道路改良事業費（単独分・社会資本整備総合交付金事業分）	6 - 7
8	2	6	15	橋りょう長寿命化対策事業費（社会資本整備総合交付金事業）	6 - 8
8	2	8	1	交通安全施設整備費	6 - 9
8	2	8	6	通学路歩道整備事業費（社会資本整備総合交付金事業）	6 - 10
8	4	1	11	市営住宅維持管理費	6 - 11
8	4	1	20	住宅リフォーム支援事業費	6 - 12
8	4	2	10	地域住宅整備事業費	6 - 13
8	7	1	10	公園維持管理費	6 - 14
8	7	2	20	ねむのき公園整備事業費	6 - 15
8	7	3	11	河川公園管理費	6 - 16
8	7	4	10	市民ゴルフ場管理運営費	6 - 17
9	1	4	11	水害対策費	6 - 18
[土地区画整理事業特別会計]					
1	1	1	10・11	大曲駅前第二地区土地区画整理事業費（補助分・単独分）	6 - 19

事 業 説 明 書

6 款 1 項 9 目 10・11 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 計画的な開発の推進

(基本事業) 土地利用計画の推進

【事業名】	国土調査事業費（補助分・単独分）				
【説明項目】	国土調査による地籍の明確化について				
【27年度】	28,731 千円	【26年度】	28,321 千円	【増減額】	410 千円

1. 事業の目的及び目標

国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、合わせて地籍の明確化を図ることを目的とする。

地籍調査の成果である地積図を作成し、公共土木・土地改良・農業構造改善・都市計画・総合開発・宅地造成の事業に利用するとともに土地の権利関係の明確化・公租公課の公平化・不動産登記簿の整備を図ることを目標とする。

【目標数値】

西仙北	79.7%	(平成27年度末までの進捗率)	
協和	86.6%		//
太田	78.7%		//

2. 事業の概要

平成27年度事業概要

地域	事業費 (千円)	事業概要		地籍管理システム保守業務委託 及びリース料、過年度修正業務委託
		補助分	単独分	
西仙北	6,362	第1 (A=0.12Km ²)	第2 (0.11Km ²)	
協和	6,338	第1 (A=0.73Km ²)	第2 (0.41Km ²)	
太田	16,031	第1 (A=0.30Km ²)	第2 (0.34Km ²)	
計	28,731			

3. これまでの成果と今後の方向性

- ・ 土地の権利関係が明確になる。
- ・ 課税の適正化が図られる。
- ・ 災害発生時、座標数値から迅速な復旧が図られる。

《H26年度事務事業評価における内容》

現在事業を実施中の地区については、事業の実施方法等について改善しながら継続して事業を進めるとともに、未実施の地域を含めた全市の全体実施計画を策定した上で、優先度を見極め、効率的に調査を進めていく。

総合評価
(今後の方向性)

改善しながら
継続

4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
28,731	17,002			11,729

【国県支出金】 15款2項4目 国土調査事業費補助金

事 業 説 明 書

8 款 2 項 1 目 15 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 市道敷地等未登記対策費	
【説明項目】 市道敷地等未登記対策について	
【27年度】	6,457 千円
【26年度】	6,787 千円
【増減額】	△ 330 千円

1. 事業の目的及び目標

平成26年4月1日現在の未登記2,417筆について、26年度に50筆の解消見込みであり、残る2,367筆について年次計画を立て、年間50筆程度の未登記解消を図ることを目標とする。

2. 事業の概要

地域	事業費(千円)	事業概要
大曲	900	6筆の未登記解消
神岡	304	2筆の未登記解消
西仙北	0	5筆の未登記解消 (国土調査事業と併せて対応)
中仙	968	5筆の未登記解消
協和	450	3筆の未登記解消
南外	3,250	25筆の未登記解消
仙北	300	2筆の未登記解消
太田	285	2筆の未登記解消
計	6,457	50筆の未登記解消

3. これまでの成果と今後の方向性

未登記を解消したことにより、公有財産が保全され、市民の不安も解消することができた。また、今後については、未登記解消の目処がついた箇所から実施していく。

《H26年度事務事業評価における内容》 市道敷地の未登記は私有財産に影響を与えており、可能な限り早期に解消すべきであるが、相続等の登記に関わる諸問題には膨大な経費と時間を要することから、未登記問題については、解消が見込まれる物件から進めている。	総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
---	--------------------------------------

4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
6,457				6,457

事 業 説 明 書

8 款 2 項 1 目 17 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 道路情報管理システム整備事業費														
【説明項目】 道路情報管理システムの導入について														
【27年度】	44,356 千円	【26年度】	0 千円	【増減額】 44,356 千円										
<p>1. 事業の目的及び目標</p> <p>合併以来課題となっている地域毎に整備形態が異なる道路台帳を統合し、電子化するとともに、効率的な維持管理を行うため道路情報管理システムを導入する。</p> <p>道路情報管理システムの導入及び運用開始は平成28年度末を目標とする。</p>														
<p>2. 事業の概要</p> <p>本事業における各業務の概要は次のとおり。 平成27年度は『道路台帳統合及び電子化業務』に着手する。</p> <p>① 『 統合型GIS基本計画策定業務 』 本市の各種情報資産を整理し、地図情報の高度利用による業務の迅速化・効率化・個別GIS導入・市民サービスの向上、地理空間情報の利活用促進のための基本計画を策定する。</p> <p>② 『 道路台帳統合化基礎調査業務 』 道路台帳の現状分析を行うとともに課題点等を抽出し、地域毎に異なる整備形態の台帳統合を図るとともに、最適な道路台帳GIS化のための基礎調査を実施し、「道路台帳統合基本計画」を作成する。</p> <p>③ 『 道路台帳統合及び電子化業務 』 「道路台帳統合基本計画」に沿って全地域の道路台帳を統合及び電子化する。</p> <p>④ 『 道路情報管理システム導入業務 』 道路管理者の日常業務である道路維持および占用物件等管理の効率化および高度化を実現するために、『道路台帳統合化基礎調査業務』および『道路台帳統合及び電子化業務』の成果を用いて道路情報管理システムを導入する。</p>														
<p>3. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>平成26年度に実施した①及び②業務により、全部署を考慮した「統合型GIS基本計画」及び「道路台帳統合基本計画」を策定済みである。今後は、前記計画を基に③及び④業務を実施し、平成28年度末のシステム稼働を目指す。</p>														
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>事業評価対象外</p>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="text-align: center;">—</p>										
<p>4. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 20%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">44,356</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">34,134</td> <td style="text-align: center;">10,222</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	44,356			34,134	10,222
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
44,356			34,134	10,222										
【 その他 】	18款	1項	1目	地域振興基金繰入金										

事 業 説 明 書

8款 2項 2目 10・11・13事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 道路維持管理費 (単独分・債務負担行為分・社会資本整備総合交付金事業分)				
【説明項目】 市道の維持管理について				

【27年度】	477,901 千円	【26年度】	387,336 千円	【増減額】 90,565 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>市が管理する道路について、適切な道路パトロールを行い損傷箇所の発見に努めるとともに、市民からの通報による損傷箇所を迅速に修繕し、安全な道路交通網を維持する。</p> <p>【目標数値】 平成26年4月1日現在の路線数 6, 6 4 2 路線、市道延長 3, 2 3 5 k mの適正な維持管理を行う。</p>				
2. 事業の概要				
<p>市単独事業の路線選定については、これまで合併前の事業量や人口、道路延長などを考慮して、合併前市町村を単位とした路線選定・予算措置を行ってきたが、限られた予算を有効に活用するため、全市統一の整備基準による審査を行い、優先順位の高い路線から工事実施することとした。また、維持修繕費等については各地域の舗装道路延長、未舗装道路延長、人口の比率に応じて予算計上し適切な道路維持を図る。</p> <p>社会資本整備総合交付金事業 (国庫補助) については、路面性状調査等により40mm以上のひび割れ及びわだち掘れが確認されえた路線の修繕等を実施する。</p>				
(1) 地域別事業費の内訳				
	単独	うち 債務負担行為	補助 (路面修繕)	計
大曲	145,515	4,800	20,000	165,515
神岡	19,264	1,100	4,000	23,264
西仙北	32,466	3,200	54,000	86,466
中仙	35,383	2,900	4,000	39,383
協和	24,446	2,500	10,000	34,446
南外	17,932	1,200	10,000	27,932
仙北	30,280	1,900	10,000	40,280
太田	24,381	2,400	4,000	28,381
計	329,667	20,000	116,000	445,667
(2) 全域事業				
道路ストック老朽化対策事業等(補助) 32,234千円				
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>合併後の地域間の連携強化や地域の利便性の向上に一定の成果を上げてきた。今後は、人口減少と高齢化を踏まえた道路整備のあり方を検討していく必要がある。</p>				
《H26年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
市民の多様化する要求・要望に対して、最も経済的な手法により対応していく。				改善して継続
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
477,901	88,940	41,700	481	346,780
【国県支出金】	14款 2項 6目	社会資本整備総合交付金		88,940
【市債】	21款 1項 6目	道路整備事業債		41,700
【その他】	13款 1項 6目	行政・法定外公共用財産使用料		481

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 12 事業

新規 ・ 継続

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 除雪、排雪の充実

(基本事業) 道路の除排雪の充実

【事業名】 除雪対策費				
【説明項目】 市道の除雪費について				
【27年度】 92,930 千円		【26年度】 104,114 千円		【増減額】 △ 11,184 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>冬期間の市民生活の交通確保と地域産業の円滑な活動推進を図るため、夜間降雪が10cm以上時の早朝除雪、わだち発生時の路面整正、路肩堆雪時の拡幅除雪、家屋密集地や視界障害箇所の排雪等を実施する。</p>				
2. 事業の概要				
			事 業 概 要	
地域	事業費 (千円)	除雪機械維持管理、消融雪施設保守及び除雪情報提供システム保守に要する経費等		
大曲	27,044			
神岡	6,314			
西仙北	16,014			
中仙	9,523			
協和	12,954			
南外	8,040			
仙北	7,589			
太田	5,452			
計	92,930			
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>4年続きの豪雪の中、早朝除雪や排雪等を効率的に実施し、市民生活の交通を確保してきた。平成26年度から本格稼働している除雪情報提供システムを有効に活用して迅速かつ適正な除雪を実施する。</p>				
《H26年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)
<p>4年連続の豪雪にあって、除雪経費が増額の一途をたどっているため、経済的で持続可能な除雪体制を構築する必要がある。</p>				改善しながら 継続
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
92,930			825	92,105
【その他】 20款 5項 3目 消雪施設電気使用料				

事 業 説 明 書

8 款 2 項 2 目 14 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 雪対策の強化

(施策) 除雪、排雪の充実

(基本事業) 除雪設備の充実

【事業名】 除雪機械購入費				
【説明項目】 除雪機械の購入について				
【27年度】	81,000 千円	【26年度】	101,183 千円	【増減額】 △ 20,183 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>冬期市民生活の交通網確保と地域産業の円滑な活動推進を図るとともに防雪対策の強化を図るため、老朽化により作業効率が著しく低下し修繕費が増加している除雪機械について、優先順位を勘案し計画的な更新を行う。</p> <p>【目標数値】 除雪機械3台の更新 【更新機種】 除雪ドーザー(13t級):3台</p>				
2. 事業の概要				
<p>事業区分：社会資本整備総合交付金事業 [雪寒機械の更新] (防災・安全社会資本整備交付金)</p> <p>補助率：補助対象事業費の2/3 ※補助対象事業費：機械購入費－更新対象機械の現存価格</p>				
機械内訳 (3台)	[購入機械①]	機種：除雪ドーザー(13t級) (現有機械)年式：平成4年式	配備：大曲地域 累積稼働：7,816hr (1,668日)	
	[購入機械②]	機種：除雪ドーザー(13t級) (現有機械)年式：昭和57年式	配備：西仙北地域 累積稼働：4,521hr (518日)	
	[購入機械③]	機種：除雪ドーザー(13t級) (現有機械)年式：昭和57年式	配備：太田地域 累積稼働：2,193hr (353日)	
平成26年度 実績 (5台)	[補助事業]：	① ㄇ-列除雪車(2.2m級) [大曲] ② ㄇ-列除雪車(2.2m級) [協和] ③ 小型除雪車(1.3m級) [中仙]		
	[単独事業]：	① 除雪ローダー(3t級) [大曲]		
	[県払下]：	① 凍結防止剤散布車(2.5t 4×4) [神岡]		
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>機械更新により除雪能力及び作業効率が向上し、良好な冬期交通網確保に貢献している。今回も同様の効果が期待されるとともに、経年劣化による修繕料削減が見込まれる。豪雪時における防雪対策にも効果が期待される。</p>				
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)
事務事業評価対象外				—
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
81,000	54,000	25,600		1,400
【国県支出金】	14款 2項 6目	防災・安全社会資本整備交付金	54,000	
【市債】	21款 1項 6目	除雪機械整備事業債	25,600	

事 業 説 明 書

8 款 2 項 4 目 32・40 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】	道路改良事業費（単独分・社会資本整備総合交付金事業分）				
【説明項目】	市道の改良事業費について				
【27年度】	297,784 千円	【26年度】	348,931 千円	【増減額】	△ 51,147 千円

1. 事業の目的及び目標
 道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基本的なインフラである。幹線道路については、公共施設や都市機能に対する交通利便性の向上を図ることを目的に、社会資本整備総合交付金等の国庫補助事業を積極的に活用した整備へ転換を進め、生活道路については安全性・快適性等の機能向上を目的に、各地域の実情を踏まえながら、全市的な整備水準の統一化を目指す。
 また、全国的に社会資本ストックの長寿命化が課題となっていることから、長寿命化に寄与する一部改良事業を積極的に進めていく。
【目標数値】 平成27年度末 改良率62.40% 舗装率53.20%

2. 事業の概要
 市単独事業の路線選定については、これまで合併前の事業量や人口、道路延長などを考慮して、合併前市町村を単位とした路線選定・予算措置を行ってきたが、限られた予算を有効に活用するため、全市統一の整備基準による審査を行い、優先順位の高い路線から工事実施することとした。（今年度は、激変緩和措置として、一部地域の状況を考慮している。）
 社会資本整備総合交付金事業（国庫補助）については、市役所前通線、南外1号線及び市道幹線路肩改修事業に加え、今年度は市道幹線小区間改良事業を実施する。

事業の内訳

地域名	単独	補助 (道路改良)	計
大曲	54,395	29,000	83,395
神岡	10,500	5,500	16,000
西仙北	10,500	0	10,500
中仙	37,203	0	37,203
協和	19,000	0	19,000
南外	5,000	114,000	119,000
仙北	3,035	6,000	9,035
太田	3,651	0	3,651
計	143,284	154,500	297,784

(参考)

交通安全施設 整備費 補助(歩道)	道路改良関係 事業合計
0	83,395
0	16,000
0	10,500
0	37,203
0	19,000
0	119,000
27,000	36,035
42,000	45,651
69,000	366,784

3. これまでの成果と今後の方向性
 合併後の地域間の連携強化や地域の利便性の向上に一定の成果を上げてきた。今後は、人口減少と高齢化を踏まえた道路整備のあり方を検討していく必要がある。

《H26年度事務事業評価における内容》 市民の多様化する要求・要望に対して、最も経済的な手法により対応していく。	総合評価 (今後の方向性) 改善して継続
---	----------------------------

4. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
297,784	92,700	165,600	7,017	32,467
【国県支出金】	14款 2項 6目	社会資本整備総合交付金	92,700	
【市債】	21款 1項 6目	道路整備事業債	165,600	
【その他】	18款 1項 1目	地域振興基金繰入金	7,017	

事 業 説 明 書

8 款 2 項 6 目 15 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 橋梁点検及び修繕計画書の策定

【事業名】 橋りょう長寿命化対策事業費 (社会資本整備総合交付金事業)				
【説明項目】 社会資本整備総合交付金を活用した橋りょう長寿命化修繕事業について				
【27年度】	232,766 千円	【26年度】	20,000 千円	【増減額】 212,766 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>老朽化する橋梁の増大に対応するため、平成25年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、これまでの「対症療法型」の維持管理から「予防保全型」の管理手法への政策転換を図り、橋梁の長寿命化および橋梁の修繕並びに計画的な架け替えに要する費用の縮減を図りつつ、安全・安心な交通網を確保する。</p> <p>※ 「対症療法型」：橋梁の損傷がある程度大きくなった時点で事後的に対策を行う。 「予防保全型」：橋梁の劣化進行を予測し、大きな損傷が発生する前に手当てを行う。</p> <p>【目標数値】 対象橋梁数：437橋 (15m以上：230橋 2m以上15m未満：207橋)</p>				
2. 事業の概要				
<p>事業区分：社会資本整備総合交付金事業 [橋梁補修] (防災・安全社会資本整備交付金)</p> <p>補助率：補助対象事業費の60%</p> <p>事業内訳：『 橋梁補修補強工事 2橋 (丸子橋・坂の上橋) 』</p> <p>〔丸子橋〕 地 域：大曲 橋 長：L=71.4m 幅 員：W=21.2m (車道部10m 歩道部5.0m×2 地覆部0.6m×2) 建設年次：(車道部)昭和50年 (歩道部)左 平成12年, 右 平成11年</p> <p>〔坂の上橋〕 地 域：中仙 橋 長：L=115.1m 幅 員：W=8.2m (車道部7m 地覆部0.6m×2) 建設年次：(車道部)昭和50年</p> <p>『 橋梁補修補強設計 (次年度修繕橋梁) 』 『 定期点検 』 橋長15m未満の未点検橋梁の点検 587橋</p> <p>※ 基本的に、橋梁長寿命化修繕計画の順位に基づき実施する。</p>				
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>平成26年度に「丸子橋」及び「坂の上橋」の補修設計を実施済。 平成27年度は、前年度の設計を基に補修工事を実施するとともに、翌年度施工予定橋梁の補修設計を実施する。</p>				
<<H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容>> 事務事業評価対象外				総合評価 (今後の方向性) —
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
232,766	139,660	80,000		13,106
【国県支出金】	14款 2項 6目 防災・安全社会資本整備交付金		139,660	
【市 債】	21款 1項 6目 橋りょう長寿命化対策事業債		80,000	

事 業 説 明 書

8 款 2 項 8 目 1・2 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 交通安全の推進

(基本事業) 交通環境の整備

【事業名】 交通安全施設整備費（債務負担行為分含む）					
【説明項目】 交通安全施設の設置及び修繕について（債務負担行為分含む）					
【27年度】	28,500 千円	【26年度】	27,653 千円	【増減額】	847 千円
1. 事業の目的及び目標					
<p>道路等に設置されている交通安全施設の補修や危険な箇所への新規設置を行い、安全で安心な交通安全の確保を目標とする。</p> <p>【目標数値】 センターラインについては交通量に応じ2～3年に1回の頻度で施工する。 外側線については5年に1回の頻度で施工する。</p>					
2. 事業の概要					
			事 業 概 要		
地域	事業費 (千円)	うち債務負担行為			
大曲	15,910	5,000	カーブミラー、区画線・街路灯等の設置及び補修 ※債務負担行為分では、市内全域重点箇所における区画線の補修を行う。		
神岡	1,306				
西仙北	2,294				
中仙	2,150				
協和	1,870				
南外	1,296				
仙北	1,581				
太田	2,093				
計	28,500	5,000			
3. これまでの成果と今後の方向性					
<p>限られた事業費の中で地域の要望を踏まえ、安全な道路交通の確保に努めてきた。今後は通学路の安全確保に重点を置き、関係各課と連携を図っていく必要がある。</p>					
《H26年度事務事業評価における内容》				総合評価 (今後の方向性)	
<p>市民の交通安全施設に対する要望は年々増加している。 市民の交通安全を図るには、交通安全施設整備は急務である。</p>				現状のまま 継続	
4. 財源内訳					
(単位:千円)					
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	
28,500				28,500	

事 業 説 明 書

8 款 2 項 8 目 6 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 道路の整備

(施策) 市道の整備

(基本事業) 生活道路の整備

【事業名】 通学路歩道整備事業費 (社会資本整備総合交付金事業)														
【説明項目】 社会資本整備総合交付金を活用した通学路の整備事業について														
【27年度】	69,000 千円	【26年度】	32,000 千円	【増減額】 37,000 千円										
<p>1. 事業の目的及び目標</p> <p>平成24年度に実施した通学路緊急点検結果等をふまえ、安全・安心な通学路を確保するために社会資本整備総合交付金を活用し、通学路を整備する。</p> <p>仙北地域の「仙北1号線」および太田地域の「久保関古館線」の歩道整備を実施し、登下校時の安全性向上を図る。</p> <p>【目標数値】</p> <p>『仙北1号線』(仙北) 整備区間延長：2,000m 事業完了予定：平成29年度</p> <p>『久保関古館線』(太田) 整備区間延長：2,400m 事業完了予定：平成30年度</p>														
<p>2. 事業の概要</p> <p>事業区分：社会資本整備総合交付金事業 [通学路緊急点検に基づく歩道整備] (防災・安全社会資本整備交付金)</p> <p>補助率：補助対象事業費の60%</p> <p>事業内訳：『仙北1号線』(仙北) 27,000千円 歩道整備、詳細設計、路線測量、用地買収、物件移転補償 歩道整備 200m 路線測量および詳細設計 500m 用地買収 9筆 物件移転補償 1式 (建物：1、付帯構造物：1、立木：1)</p> <p>『久保関古館線』(太田) 42,000千円 歩道整備、用地・補償算定 歩道整備 1,200m (路床・路盤) 用地・補償算定 220m</p>														
<p>4. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>平成24年度に実施した通学路緊急点検結果等を基にした継続事業であり、安全な通学路を確保するために事業進捗を図り、早期事業完了を目指す。</p>														
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>事業評価対象外</p>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>—</p>										
<p>5. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>予算額</th> <th>国県支出金</th> <th>市債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">69,000</td> <td style="text-align: center;">41,400</td> <td style="text-align: center;">24,800</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>【国県支出金】 14款 2項 6目 防災・安全社会資本整備交付金 41,400</p> <p>【市債】 21款 1項 6目 道路整備事業債 24,800</p>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	69,000	41,400	24,800		2,800
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
69,000	41,400	24,800		2,800										

事 業 説 明 書

8 款 4 項 1 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) 市営住宅の整備・管理

【事業名】	市営住宅維持管理費		
【説明項目】	市営住宅維持管理費について		
【27年度】	35,342 千円	【26年度】	35,157 千円
		【増減額】	185 千円

1. 事業の目的及び目標

市営住宅の施設・設備を修繕し、周辺環境を整備することにより、入居者が安心・快適に過ごせるよう適性に管理する。
 そのうえで市営住宅の退去修繕や入居者募集の事務を速やかに実施し、入居率100%を維持していく。
 (平成26年度 住宅戸数536戸)

2. 事業の概要

■市営住宅の概況

地域	団地数	棟数	戸数	団地名
大曲	4	20	248	上大町、福見、船場、笑の口
神岡	1	3	48	神岡AD, EF, GH棟
西仙北	3	16	59	天神前、愛宕、北ノ沢
中仙	1	6	12	グリーンタウン漆原
協和	6	45	85	境、野田、野田第2、野田第3、峰吉川、合貝 (うち特公賃5戸)
南外	1	12	24	梨木田
太田	2	31	60	北部 (さくら団地) (うち特公賃3戸)、南部 (つつみ団地) (うち特公賃14戸)
計	18	133	536	

■予算の統一方針

- ・負担の公平性の確保
 (給排水) 供用開始や受水槽・浄化槽の更新時期等のタイミングにより上下水道への接続推進。
 平成27年度は南外地域梨木田市営住宅の下水道接続工事を実施する。
 (供用部分) 団地内の公園・外灯等共用部分の管理の統一。自治会組織や管理人設定の指導。自治会共益費等の指導。
- ・予算の削減及び配分
 (修繕料) 過去数年の実績を考慮し、各支所の一般修繕料を平等割：一律350千円及び
【新規】 戸数割：管理戸数×5千円、退去修繕料を管理戸数の1割程度×150千円として、
 各団地の要望に早急に対応できるようにした。
 上記以外で費用が多額にかかる修繕箇所は優先順位をつけて別途考慮とした。
- ・その他
 各地域事情 (構造、住宅タイプ、戸数、公園や共用部分の有無等) に応じた予算科目に配慮した。
- ・維持管理費全体としては前年度より予算増となったが、修繕費・委託料などを再度見直し、スクラップアンドビルドの徹底を図った。

3. これまでの成果と今後の方向性

建物、設備及び周辺環境を適正に維持管理していくことで新規入居や継続入居につながり、家賃収入等を確保することができている。
 施設の老朽化に伴い年々修繕費及び工事費が増加しているが、既存住宅を有効活用するためにも限られた予算で良質な住宅環境を整備したい。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 市営住宅の適正な運営のため必要不可欠な事業であり、継続して行う必要があるが、住宅管理については国・県の交付金の活用し既存住宅の長寿命化を図り、維持管理費の抑制に努めたい。	総合評価 (今後の方向性) 現状
---	-----------------------------------

4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
35,342			35,342	

【その他】 13款1項6目：市営住宅使用料 26,867、市営住宅使用料 (滞納繰越分) 2,127、
 市営住宅駐車場使用料 4,572、市営住宅駐車場使用料 (滞納繰越分) 47、
 市営住宅併設店舗使用料 1,728
 13款2項3目：諸証明手数料 1

事業説明書

8 款 4 項 1 目 20 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) バリアフリー化の推進

【事業名】 住宅リフォーム支援事業費 【説明項目】 住宅リフォーム支援事業費について							
【27年度】		69,097 千円	【26年度】		66,086 千円	【増減額】	3,011 千円
1. 事業の目的及び目標 住宅リフォーム工事を行う者に対して、財政的支援を実施することにより、居住環境の向上を図るとともに、合わせて経済活性化対策として市内住宅産業の活性化及び雇用の創出を図る。 (数値目標) (環境対策) (目標工事件数)300件×(平均交付決定額)150千円/件=45,000千円 (克雪・耐震化対策) (目標工事件数)120件×(平均交付決定額)200千円/件=24,000千円							
2. 事業の概要 ■補助金交付対象工事（環境対策等工事、克雪対策工事及び耐震化工事については併用申請を可とする。） 【環境対策等工事】 全体工事費が20万円以上であり、補助対象工事費（環境対策工事、省エネルギー工事、バリアフリー工事）が全体の2分の1以上占めるもの。 【克雪対策工事】 屋根の落雪防止器具や融雪装置設置等のほか住宅敷地内の消雪・融雪敷設工事等の克雪対策工事費が5万円以上であること。 【耐震化工事（補助率及び補助金交付額の拡充）】 平成12年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化工事費が5万円以上であること。耐震化工事を実施する場合の耐震診断・補強案作成・実施設計・工事監理は全て補助対象とする。 ■補助金交付要件、補助額 (1) 大仙市内に居住している方、又は年度内に転入予定の方で、世帯全員が市税に滞納が無いこと。 (2) 大仙市内に事業所を有する法人または市内に住所を有する個人が請負人となって施工する工事であること。 (3) 環境対策等工事の場合の補助率は全体工事費の10%で交付合計額が20万円、克雪対策工事及び耐震化工事分の場合は対象工事費の15%で交付合計額が30万円であり、上限に達するまでは再申請を可とする。 なお、それぞれの補助金の併用申請を可とするが、上限額は30万円となる。							
3. これまでの成果と今後の方向性 (単位：千円)							
	年度	件数	決算額	うち国県交付金	平均交付額	備考	
	H22実績	462	95,125	88,591	206	補助額上限30万円	
	H23実績	453	93,870	89,995	207	〃	
	H24実績	495	71,046	0	144	補助額上限20万円	
	H25実績	411	64,613	0	157	〃	
	H26.12末現在 (うち克雪分)	476 (124)	77,947 (28,258)	0 (0)	172 (228)	(環境対策等工事) 補助額上限20万円 (克雪対策工事) 補助額上限30万円	
平成26年度までの実績を見ても、例年当初予算では間に合わず、補正予算や予備費によって事業を遂行している。今年度12月末現在で申請件数は476件、総工事高は11億円を超える経済効果を算出している。 今年度から始まった克雪対策を伴う工事は12月末現在、申請件数124件となっており、市民から大きな評価を受けている。 一方で、耐震化工事については旧耐震基準の家屋が多く存在するにも関わらず、今年度の申請件数は3件にとどまっていることから、平成27年度から耐震化工事について克雪対策工事と同じ補助基準を採用して、雪害や地震などの災害に強いまちづくりの推進を図る。							
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 ※事務事業評価シートには記載なし。 (申請件数の推移から見ても依然市民のニーズは高く、経済対策としても波及効果が認められることから、時代のニーズに合わせて見直しを図りながら事業を継続していく。)						総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続	
4. 財源内訳 (単位：千円)							
	予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源		
	69,097				69,097		

事 業 説 明 書

8 款 4 項 2 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建築住宅課

(施策の大綱) 住宅環境の整備

(施策) 住宅、宅地の整備

(基本事業) 市営住宅の整備・管理

【事業名】 地域住宅整備事業費																																									
【説明項目】 市営住宅の長寿命化整備等について																																									
【27年度】 135,372千円	【26年度】 103,832千円 【増減額】 31,540千円																																								
<p>1. 事業の目的及び目標</p> <p>大仙市公営住宅等長寿命化計画等に基づき、安全で快適な住まいを長期的に確保するため、予防保全的観点から修繕や改善の計画を定め、市営住宅の長寿命化等による更新コストの削減と整備事業量の平均化を図る。 ライフサイクルコストの縮減に努めながら、施設の耐用年数である非木造70年間、木造30年間供用できるように適正に更新及び維持管理していく。</p>																																									
<p>2. 事業の概要</p> <p>■天神前市営住宅建替事業(補助率45%、50%) 老朽化に伴い建替を実施し、現在の23戸から14戸に変更する。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">25年度</td> <td style="width: 15%;">1,518千円</td> <td style="width: 40%;">建替に伴う移転補償(10戸分)</td> <td style="width: 30%;">【実績】</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>2,132千円</td> <td>建替に伴う移転補償(12戸分)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>24,511千円</td> <td>基本設計、実施設計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td>135,372千円</td> <td>解体工事</td> <td>9,261千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>新築工事</td> <td>102,288千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>外構工事</td> <td>19,003千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>設計監理・工事監理</td> <td>3,556千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>建替に伴う移転補償(10戸分)</td> <td>1,264千円</td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td>100,880千円</td> <td>解体工事、新築工事、外構工事、設計監理、工事監理</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,302千円</td> <td>建替に伴う移転補償(8戸分)</td> <td></td> </tr> </table>		25年度	1,518千円	建替に伴う移転補償(10戸分)	【実績】	26年度	2,132千円	建替に伴う移転補償(12戸分)			24,511千円	基本設計、実施設計		27年度	135,372千円	解体工事	9,261千円			新築工事	102,288千円			外構工事	19,003千円			設計監理・工事監理	3,556千円			建替に伴う移転補償(10戸分)	1,264千円	28年度	100,880千円	解体工事、新築工事、外構工事、設計監理、工事監理			1,302千円	建替に伴う移転補償(8戸分)	
25年度	1,518千円	建替に伴う移転補償(10戸分)	【実績】																																						
26年度	2,132千円	建替に伴う移転補償(12戸分)																																							
	24,511千円	基本設計、実施設計																																							
27年度	135,372千円	解体工事	9,261千円																																						
		新築工事	102,288千円																																						
		外構工事	19,003千円																																						
		設計監理・工事監理	3,556千円																																						
		建替に伴う移転補償(10戸分)	1,264千円																																						
28年度	100,880千円	解体工事、新築工事、外構工事、設計監理、工事監理																																							
	1,302千円	建替に伴う移転補償(8戸分)																																							
<p>3. これまでの成果と今後の方向性</p> <p>建物、設備及び周辺環境を適正に維持管理していくことで新規入居や継続入居につながり、家賃収入等を確保することができている。また、施設の老朽化に伴い年々修繕費及び工事費が増加しているが、既存住宅を有効活用するためにも限られた予算で良質な住宅環境を整備したい。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%; border: 1px solid black;"> 《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 市営住宅の適正な運営のため必要不可欠な事業であり、継続して行う必要があるが、住宅管理については国・県の交付金を活用し既存住宅の長寿命化を図り、維持管理費の抑制に努めたい。 </td> <td style="width: 20%; border: 1px solid black; text-align: center; vertical-align: top;"> 総合評価 (今後の方向) 現状 </td> </tr> </table>		《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 市営住宅の適正な運営のため必要不可欠な事業であり、継続して行う必要があるが、住宅管理については国・県の交付金を活用し既存住宅の長寿命化を図り、維持管理費の抑制に努めたい。	総合評価 (今後の方向) 現状																																						
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》 市営住宅の適正な運営のため必要不可欠な事業であり、継続して行う必要があるが、住宅管理については国・県の交付金を活用し既存住宅の長寿命化を図り、維持管理費の抑制に努めたい。	総合評価 (今後の方向) 現状																																								
<p>4. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">135,372</td> <td style="text-align: center;">57,370</td> <td style="text-align: center;">77,300</td> <td></td> <td style="text-align: center;">702</td> </tr> </table> <p>【国県支出金】 14款2項6目：社会資本整備総合交付金 【市債】 21款1項6目：地域住宅整備事業債</p>		予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	135,372	57,370	77,300		702																														
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源																																					
135,372	57,370	77,300		702																																					

事 業 説 明 書

8 款 7 項 1 目 10 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 維持管理の充実

【事業名】	公園維持管理費				
【説明項目】	公園維持管理費について				
【27年度】	75,488 千円	【26年度】	88,129 千円	【増減額】	△ 12,641 千円

1. 事業の目的及び目標

公園利用者が安全かつ快適に過ごせるよう公園及び緑地の維持管理を適正に行い、施設の安全性と利便性の向上に努めるとともに、都市環境の整備、緑地の保全、利用者の憩いの場の創出を図ることにより、市民の福祉と健康の増進に寄与する。

2. 事業の概要

○ 主な事業内容

- ・ 川目分校跡地緑地（大曲） : ベンチ及び転落防止柵設置工事を施工し、公園整備を行う。
- ・ 中川原コミュニティ公園（神岡） : 継続事業として、釣り沼の杭柵護岸を整備する。
- ・ 大佐沢公園（西仙北） : 案内看板をリニューアルする。
- ・ 南外ふれあいパーク（南外） : 危険防止のために、ため池の護岸を補強する。
- ・ 太田南部地区公園（太田） : 修景池への汚泥の堆積を防止し池内環境を向上させるために、修景池流入路東側にコンパクトゲート設置工事を施工する。

○ 地域別内訳

地域	公園数	面積合計	歳出（千円）	歳入（千円）	指定管理者制度導入施設
大 曲	34	126.86 ha	39,751	1,133	
神 岡	6	19.00 ha	7,694	404	宇船農村公園（H23～H27）
西仙北	11	12.54 ha	2,197	42	
中 仙	11	216.59 ha	8,931		
協 和	10	7.43 ha	5,316		米ヶ森公園（H24～H28）
南 外	3	21.96 ha	3,673		南外ふれあいパーク（H26～H30）
仙 北	7	15.98 ha	1,680		
太 田	20	12.10 ha	6,246		太田南部地区公園・横沢東農村公園（H27～H31）
合計	102	432.46 ha	75,488	1,579	

3. これまでの成果と今後の方向性

公園の適正な維持管理に努めながら、継続して維持管理経費の削減が図られているとともに、施設内での事故は発生していない。今後も引き続き経費削減に努めながら、施設における事故の未然防止の観点から、経年劣化した施設等の修繕及び遊具の解体撤去について、優先順位を定めて計画的に実施していく。

<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>事業内容を精査し必要最小限のコストで公園の維持管理を行っている。現状を維持しながら公園に対する市民ニーズの把握と事故防止に努めるとともに、市民が快適かつ安心して利用出来る公園管理を行っていく必要がある。</p>	<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">現状のまま 継続</p>
--	---

4. 財源内訳

(単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
75,488			1,579	73,909

- 【そ の 他】 13款 1項 6目 : 公園使用料他 935
- 【そ の 他】 16款 2項 2目 : 立竹木売払収入 450
- 【そ の 他】 20款 5項 3目 : 自販機電気使用料他 194

事 業 説 明 書

8 款 7 項 2 目 20 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 公園緑地の整備

【事業名】 ねむのき公園整備事業費				
【説明項目】 ねむのき公園再整備事業について				
【27年度】	34,992 千円	【26年度】	0 千円	【増減額】 34,992 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>大曲通町地区第一種市街地再開発事業の関連社会資本整備事業として、大曲厚生医療センターの東側に隣接する公園の再整備事業を実施することにより、中心市街地活性化の基本コンセプトである「人が集い輝き続けるまちの拠点づくり」の実現を目的とする。市街地における緑地保全を推進し、地域の貴重なコミュニティスペースである憩いの場としての魅力の創出を図り、市民福祉の向上と健康の増進に寄与するとともに、災害時の避難場所となっている防災拠点の整備を図る。</p>				
2. 事業の概要				
ねむのき公園再整備事業 A = 1,500㎡ (供用開始日：昭和54年3月17日)				
<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園整備実施設計業務委託料 1,415千円 ○ 公園整備工事請負費 33,577千円 ・ 撤去処分等工事 : 芝撤去・整地、舗装撤去、縁石撤去、遊具撤去、バス待合小屋撤去、モニュメント撤去、ベンチ撤去、外灯撤去 ・ 新 設 工 事 : 舗装（インターロッキング）新設、縁石新設、遊具新設、ベンチ新設、外灯新設、管理小屋新設 				
3. これまでの成果と今後の方向性				
工期は平成27年9月末とし、市街地再開発事業の最終年度である平成27年度に事業を完了する。				
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)
事務事業評価対象外				—
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
34,992	17,496	16,600		896
【国庫支出金】 14款 2項 6目： 社会資本整備総合交付金 17,496 【市債】 21款 1項 6目： 公園施設整備事業債 16,600				

事業説明書

8 款 7 項 3 目 11 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 維持管理の充実

【事業名】	河川公園管理費			
【説明項目】	河川公園管理費について			
【27年度】	13,859 千円	【26年度】	17,136 千円	【増減額】 △ 3,277 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>河川公園利用者が安全かつ快適に過ごせるよう河川公園緑地の維持管理を適正に行い、河川環境の保全と施設の安全確保に努めるとともに、良好な自然景観を維持することにより利用者の憩いの場の創出を図り、市民福祉の向上と健康の増進に寄与する。</p>				
2. 事業の概要				
○ 主な管理内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈り、芝刈り、ごみ処理、トイレ清掃、浄化槽管理、樹木剪定、病虫害防除、施設修繕等 				
○ 地域別内訳				
	地域	事業費 (千円)	公園名称	備 考
大 曲		10,286	雄物川河川緑地運動公園 →	野球場、テニスコート、サッカー場、グラウンドゴルフ場 (多目的広場)、花館グラウンド運動公園、緑地 (大曲の花火観覧場他)
			丸子川河川緑地	
			福部内川河川緑地	
			水辺の楽校	
			出川河川公園	
中 仙		2,692	大神成河川公園	
			栗沢河川公園	斉内川上下流
太 田		881	斉内川河川公園	チビッコ広場、木もれび広場
計		13,859		
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>河川公園管理費と市民ゴルフ場管理委託費において予算措置していた市民ゴルフ場関連予算について、市民ゴルフ場管理運営費に一括計上する。また、公園維持管理費に予算措置していた中仙地域河川公園関連予算を、河川公園管理費に措置する。</p>				
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>事業内容を精査し必要最低限のコストで河川公園の維持管理を行っている。今後とも河川公園利用者ニーズの把握と事故防止に努めるとともに、経年劣化による施設の老朽化も進んでいることから維持管理を適正に行っていく必要がある。</p>				総合評価 (今後の方向性) 改善しながら 継続
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
13,859				13,859

事 業 説 明 書

8 款 7 項 4 目 10 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 都市管理課

(施策の大綱) 公園・緑地の整備

(施策) 公園・緑地の整備、緑化の推進

(基本事業) 維持管理の充実

【事業名】 市民ゴルフ場管理運営費				
【説明項目】 市民ゴルフ場管理運営費について				
【27年度】	39,792 千円	【26年度】	32,697 千円	【増減額】 7,095 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>国土交通省から河川占用許可を受けている雄物川河川緑地を利用してゴルフ場を運営することにより、ゴルフを通じて市民の健康増進を図るとともに、利用者が安全かつ快適にプレーしていただくよう適切に施設の維持管理を行うことにより来場者数の安定確保に努め、大仙市民ゴルフ場の管理運営を委託する株式会社大曲スポーツセンターが持続して経営出来るように努力を促す。</p>				
2. 事業の概要				
<p>■ 事業名の変更</p> <p>市民ゴルフ場管理委託費 → 市民ゴルフ場管理運営費</p> <p>市民ゴルフ場管理委託費と河川公園管理費において予算措置をしていた市民ゴルフ場関連予算を、平成27年度より市民ゴルフ場管理運営費に一括計上する。</p>				
<p>○ 市民ゴルフ場管理委託料 34,488千円</p> <p>・ ゴルフ場の管理運営全般、コースの整備及び事故防止等の管理業務、利用料金収納業務等</p> <p>○ 排水施設改修工事 748千円</p> <p>○ 3連乗用草刈機（1台）購入費 4,000千円</p> <p>○ 中古乗用カート（2台）購入費 556千円</p>				
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>平成26年度は新規コンペの獲得、プレミア券の販売促進などの営業努力等により、前年度比9.4%増の12,633人（速報値）の入場者実績となったが、乗用草刈機及び乗用カートの老朽化、排水施設の経年劣化等が進んでいることから、今後とも計画的に施設及び設備の整備を継続して、クオリティの高いコースづくりに努めなければならない。</p>				
<p>《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》</p> <p>スポーツの嗜好性や天候に左右される事業であることから、市民ニーズや他のゴルフ場動向等も注視しながら、引き続き利用者が安心してプレー出来る環境づくりに努めるとともに、事故が起きることがないように安全性と利便性の向上を図りながら、適正な管理運営を継続していく必要がある。</p>				<p>総合評価 (今後の方向性)</p> <p>現状のまま 継続</p>
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
39,792			33,528	6,264
【その他】 13款 1項 6目: 市民ゴルフ場使用料		32,502		
【その他】 18款 1項 1目: 市民ゴルフ場整備運営基金繰入金		1,026		

事 業 説 明 書

9 款 1 項 4 目 11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 建設部 道路河川課

(施策の大綱) 生活の安全、安心確保

(施策) 消防、防災の充実

(基本事業) 防災体制の充実、強化

【事業名】 水害対策費				
【説明項目】 一級河川福部内川支川内水処理対策事業				
【27年度】	34,200 千円	【26年度】	5,400 千円	【増減額】 28,800 千円
1. 事業の目的及び目標				
<p>平成23年6月24日の局部的集中豪雨により、市内において多大な被害が生じたことを受け、秋田県で一級河川福部内川の河川改修事業を平成23年度から実施しており、それに伴い大曲福見町から若葉町間に3箇所の排水機場を整備し内水排除を行う事を目的とする。</p>				
2. 事業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体計画 <ul style="list-style-type: none"> 内水排除のための排水機場並びに樋門の整備 3 箇所 ① 福見排水区 ② 福部内川支排1号 ③ 大曲住吉排水区 ・ 平成27年度事業 <ul style="list-style-type: none"> 一級河川福部内川支線（福見町排水区）排水機場の設置工事、用地購入 				
3. これまでの成果と今後の方向性				
<p>これまで、秋田県と大仙市とで一級河川福部内川の河川改修事業の手法について地域住民と一体となり検討を進めてきた。</p> <p>今後は、具体的な整備計画について財源の確保も踏まえて、県と協議を進めていく必要がある。</p>				
《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》				総合評価 (今後の方向性)
流域住人の安全を確保するための重要施策であり、安全が確保されるまで継続的に実施する必要がある。				改善して 継続
4. 財源内訳				
(単位:千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
34,200				34,200

事 業 説 明 書

(土地区画整理事業特別会計)

1 款 1 項 1 目 10・11 事業

新規 ・ **継続** ・ 廃止

課所名 土地区画整理事務所

(施策の大綱) 市街地の整備

(施策) 良好なまちづくりの推進

(基本事業) 土地区画整理事業の推進

【事業名】 大曲駅前第二地区土地区画整理事業費 (補助分・単独分)

【説明項目】 事業内容について

【27年度】 408,095千円 **【26年度】** 893,023千円 **【増減額】** △ 484,928千円

1. 事業の目的及び目標

大曲駅前第二地区は、市の中心市街地で商店街や住宅地域で構成されているが、公共施設の整備の遅れから土地の利用状況が極めて悪く、新幹線開通による交通の利便性や商業交流拠点地区の地区特性を十分活用していない状況であり、早急な基盤整備が望まれる地区である。

このため、土地区画整理事業により道路、水路及び公園等の公共施設を整備し、交通の円滑化、歩行者の安全確保に努めながら、賑わいのある商店街の形成、宅地の利用増進と災害に備えた安全な都市基盤の整備を図り、中心市街地の再生を図るものである。

2. 事業の概要

○大曲駅前第二地区土地区画整理事業《実施計画書より》

…〔施行期間〕平成元年度～27年度 (ハード整備事業) 〔施行地区面積〕25.7ha

〔総事業費〕29,800,000千円

※H27年度 事業概要等

(単位：千円)

大事業	事業概要	事業費	工事費	用地補償費	換地諸費	事務費
補助分	まるこ川通線新設工事 街区公園整備工事 (3箇所) 出来形確認測量業務委託 換地計画書作成業務委託 代位登記業務 他	389,000	330,000		59,000	0
単独分	仮住居、土地損失補償 仮設店舗解体工事 仮設道路工事 事務費他	19,095	6,600	3,718		8,777
合計		408,095	336,600	3,718	59,000	8,777

※H27年度 財源内訳

(単位：千円)

大事業	事業費	国費	市債	一般財源
補助分	389,000	215,400	160,000	13,600
単独分	19,095	0		19,095
合計	408,095	215,400	160,000	32,695

3. これまでの成果と今後の方向性

平成25年度末での事業費ベース進捗率は93.3%であり、物件移転補償については平成26年度で全て終了する。

平成27年度でハード事業を終了させ、平成28年度より換地処分を開始、平成33年度までに完了事務経費を含め全ての事業を完成させる計画である。

《H26年度の実績見込みを踏まえた事務事業評価の見直し内容》

本事業により、利便性の高い中心市街地の形成が図られてきた。
まもなく補助事業最終年度を迎えるため、残事業を滞りなく実施し、事業を完了する必要がある。

総合評価
(今後の方向性)

現状のまま
継続

4. 財源内訳

(単位：千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
408,095	215,400	160,000		32,695

【国県支出金】 2款1項1目 : 社会資本整備総合交付金

【市債】 5款1項1目 : 大曲駅前第二地区土地区画整理事業債